

令和8年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第13回研修を開催しました

岩手県農業公社就農支援部では、令和8年8月21日（金）、22日（土）に雫石町南畑のコテージむらにおいて、第13回研修を行いました。

講義では、花巻農業協同組合営農部園芸販売課指導販売係技術顧問 久米正明氏をお招きし、岩手の果樹栽培をテーマに講義をいただきました。

本県で栽培可能な果樹品目や特性を始め、本県の果樹栽培の現状や分散型産地の特徴、果樹経営におけるハンディキャップを克服する経営感覚について解説していただきました。

さらに、ブランドランキングから読み解く市場価値や価値形成力を高める手法など、将来の営農を見据えた実践的なマーケティング視点も学びました。

続けて、指導員からはくさいの栽培について講義を行い、管理におけるポイントや留意点を

学びました。

実習では、初めにパイプハウスでトマトの収穫と管理作業を行いました。真っ赤に輝くトマトを収穫した後、わき芽かきや下葉かき、吊り下げ誘引作業に熱心に取り組みました。

その後は、露地ほ場の各受講生が管理する栽培畝において、だいこんの間引きやはくさい苗の定植、ピーマンやなすの収穫のほか丁寧な除草作業に汗を流しました。

暑さの厳しい中での実習となりましたが、受講生の皆さんは仲間同士で盛んに言葉を交わしながら、終始前向きに、かつ生き生きと実習に取り組んでいました。

次回の第14回研修は、9月4日（金）、5日（土）に同会場にて、キャベツなどの栽培についての講義のほか、キャベツやブロッコリー苗の定植作業などを行う予定です。



岩手の果樹栽培について解説する久米氏



トマトの誘引作業をする受講生



畝へはくさい苗を定植する受講生



収穫した野菜